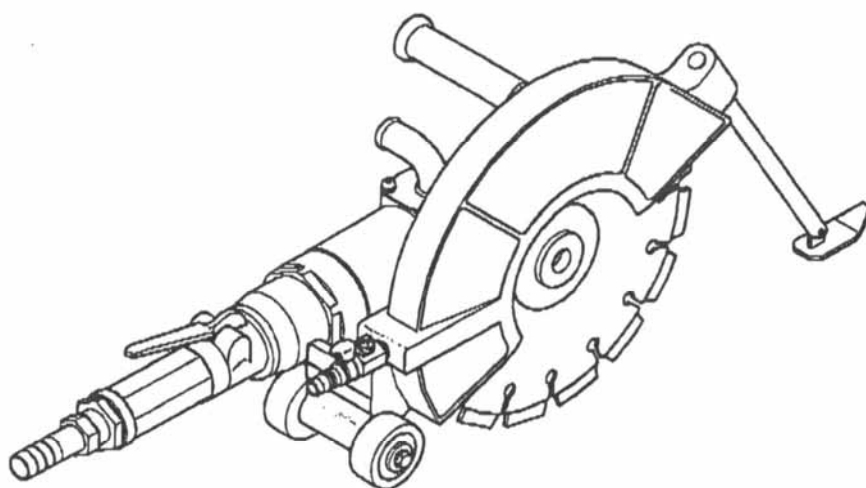


エアーハンドカッター

型式 CHC - A

取扱説明書



⚠ 警告

- ◎ ご使用前に、この「取扱説明書」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

Hakken®

目 次

	ページ
1. 警告および注意	
【1】エアー工具の安全上のご注意	1
【2】エアーハンドカッターの使用上のご注意	3
2. 各部の名称	5
3. 仕様	5
4. 標準付属品	6
5. 用途	6
6. オプション品	6
7. 使用方法	7
8. ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石の取付け・取りはずし	8
9. 保守・点検修理	8
10. 製品の保管	9

注意文の「 警告」、「 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を現します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

1. 警告および注意

- ◎ 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「エアertoolsの安全上のご注意」「エアertoolsハンドカッターの使用上のご注意」を必ず守ってください。
- ◎ ご使用前に、この「警告および注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

【1】エアertoolsの安全上のご注意

警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ◎ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ◎ 作業場は十分明るくしてください。
 - ◎ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 子供を近づけないでください。
 - ◎ 作業者以外、エアertoolsやエアertoolsホースに触れさせないでください。
 - ◎ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
4. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ◎ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い安全な所または、錠のかかる所に保管してください。
5. 無理して使用しないでください。
 - ◎ 安全に能率よく作業するために、エアertoolsの能力に合った速さで作業してください。
6. 作業に合ったエアertoolsを使用してください。
 - ◎ 指定された用途以外に使用しないでください。
7. きちんとした服装で作業してください。
 - ◎ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ◎ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ◎ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 保護めがねを使用してください。
 - ◎ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

 警告

9. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ◎ 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でエアール具を使用できます。
10. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ◎ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
11. エアール具は、注意深く手入れをしてください。
 - ◎ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ◎ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ◎ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
12. 次の場合は、エアール具と空圧源の接続をはずしてください。
 - ◎ 使用しない、または、修理する場合。
 - ◎ その他危険が予想される場合。
13. 次の場合は、スイッチレバーをロックし、空圧源のバルブを閉じてください。
 - ◎ 刃物・といし・ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ◎ その他危険が予想される場合。
14. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ◎ 空圧源のバルブを開く前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
15. 不意な始動は避けてください。
 - ◎ 空圧源のバルブが開いた状態で、スイッチレバーに指を掛けて運ばないでください。
 - ◎ 空圧源のバルブを開く前に、スイッチレバーが切れていることを確認してください。
16. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ◎ エアール具を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。
 - ◎ 常識を働かせてください。
 - ◎ 疲れている場合は、使用しないでください。
17. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ◎ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - ◎ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

 警告

- ◎ 損傷した保護カバー・その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所で修理を行ってください。
- ◎ スイッチで始動および停止操作のできないエアー工具は、使用しないでください。

18. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◎ 本取扱説明書およびコンセックカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

19. エアー工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◎ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ◎ 修理は、必ずお買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

【2】エアーハンドカッターの使用上のご注意

 警告

1. 使用空圧源は、銘板に表示してある空圧で使用してください。
 - ◎ 表示を超える空圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. ゴム手袋・ゴム長靴は必ず着用してください。
 - ◎ 本機は水を使用しますので、作業中は必ずゴム手袋・ゴム長靴を着用してください。
3. 電線管などの埋設物に注意してください。
 - ◎ 電気が流れている電線や電線管などに接触すると感電する恐れがあります。
 - ◎ 壁・床などを切断する場合は、埋設物のチェックを十分に行ってください。
4. 貫通側の安全面に注意してください。
 - ◎ ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石貫通側は大変危険です。また、切り粉・切削水が飛散することがありますので、人や物に当たらないように、防護対策や処理方法を確実に行ってから作業を始めてください。
5. 高所での作業は、関係法令に従って作業してください。
 - ◎ 高所での作業の場合は、安全で安定した場所に置くようにしてください。
6. 回転中のダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石には絶対に触れないでください。
 - ◎ 回転中のダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石には、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
7. モーターの排気口をふさいだり、排気口に物を入れたりしないでください。

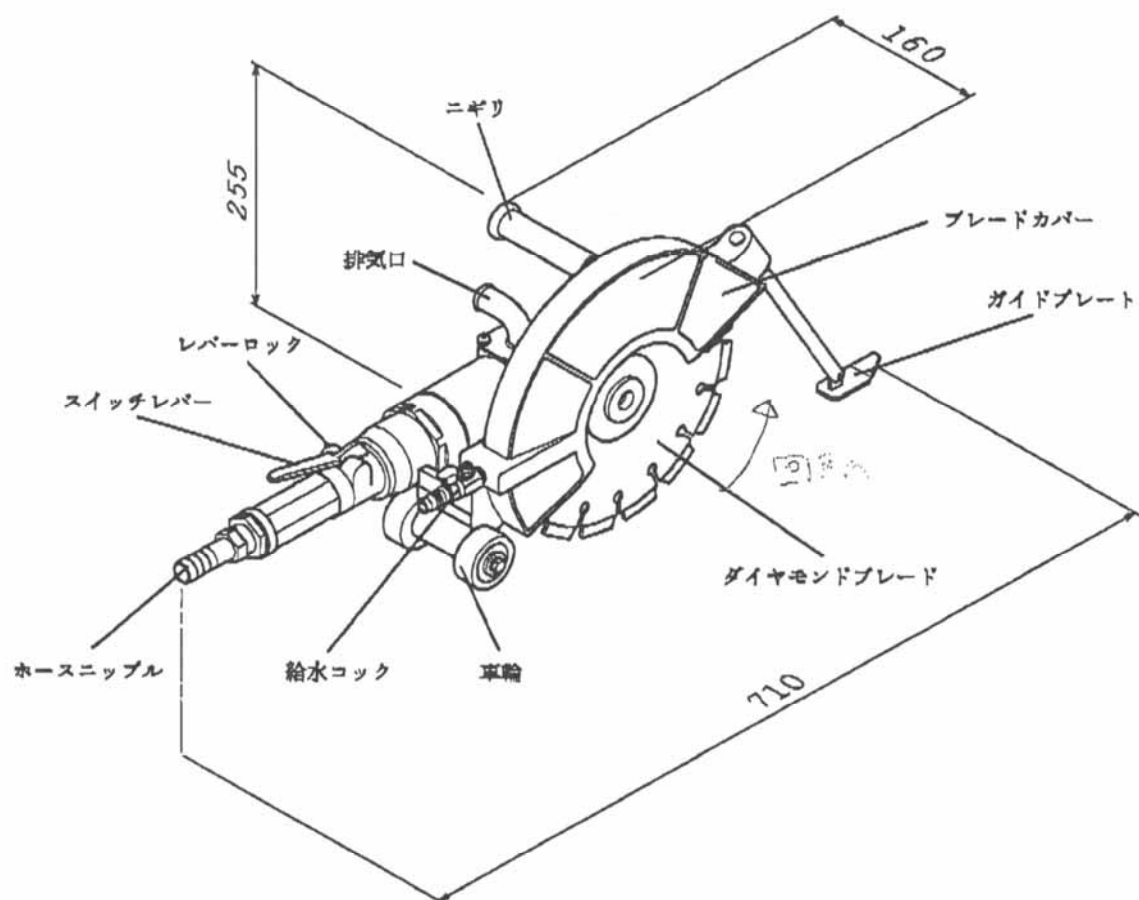
警告

8. 異常時にはただちにスイッチレバーを切ってください。
 - ◎ 使用中にダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石が止まったにり、異音を発したときは、ただちにスイッチレバーを切ってください。
9. スイッチレバーがロックされていることを確認してください。
 - ◎ スイッチレバーを入れたまま空圧源のバルブを開くと、不意に起動し思わぬ事故の原因となり大変危険です。
10. ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石の締付けを確認してください。
 - ◎ ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石は正規の状態に取付けられ、十分締付けられているか確認してください。詳しくは、P.8の「8. ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石の取付け・取りはずし」の項をご参照ください。
11. ダイヤモンドブレードに、チップとび・ひび・割れ・変形などある場合は使用しないでください。
12. レジノイド砥石が、割れ・ひび・欠けている場合は使用しないでください。
13. ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石が切断面に接した状態で、スイッチレバーを入れないでください。
 - ◎ ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石やエアーハンドカッター本体の破損の恐れがあります。

注意

1. 湿式ダイヤモンドブレードで切断するときは、必ず給水を行ってください。
 - ◎ ダイヤモンドブレードは加熱すると、寿命が短くなり切削能率も低下しますので、必ず給水を行ってください。
 - ◎ 清水以外の水を使用すると、エアーハンドカッター本体などの故障の原因となります。必ず清水を使用してください。
2. 切断作業は回転が上がってから行ってください。
 - ◎ 切断作業はスイッチレバーを入れ、ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石の回転が完全に上がってから行ってください。
3. 給水コックを清掃してください。
 - ◎ 乾式で切断した後は、給水コックに切り粉がたまっている場合があるので必ず清掃してください。
4. 切断途中でダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石の回転を止めたり、ロックさせたりしないでください。
 - ◎ ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石の刃先の破損や、エアーハンドカッター本体の破損の恐れがあります。
5. ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石（当社推奨品）以外は取付けしないでください。

2. 各部の名称



3. 仕様

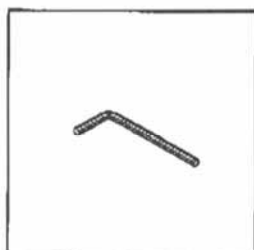
ホースニップル
R 1/2

最大出力	1.8 ps
無負荷回転数	4500 min ⁻¹ (rpm)
ダイヤモンドブレード径	φ255 × 穴径 φ22 mm
最大切込み深さ	85 mm
使用空気圧力	588 kPa (6 kg/cm ²)
空気消費量	1.8 m ³ /min
エアーホース径	12.7 mm
重量	5.3 kg

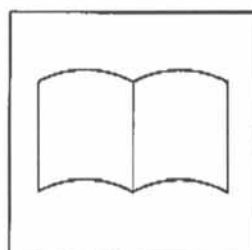
4. 標準付属品



片口スパナ
26mm
… 1ヶ



大角棒レンヂ
8mm
… 1ヶ



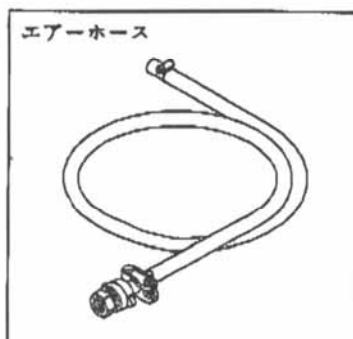
取扱説明書
… 1部

5. 用途

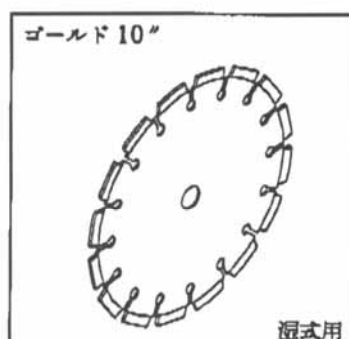
◎ コンクリート・石材・タイル・レンガ・アスファルト・ラス(ラスシートなど、板厚 0.2 ~ 0.6 mm 程度のもの)・ヒューム管の切断

 **注意** 鋳鉄管等金属の切断はレジノイド砥石をご使用ください。

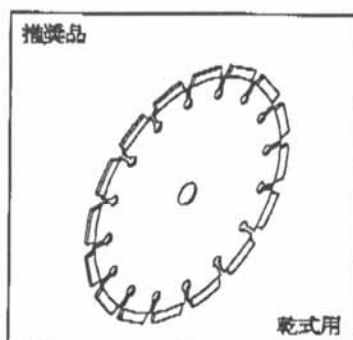
6. オプション品



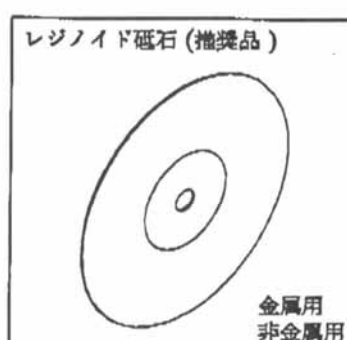
空圧源とエアーハンドカッターの
ホースニップルをつなぐホースで
す。



エア－ハンドカッター用湿式ダイ
ヤモンドブレードです。



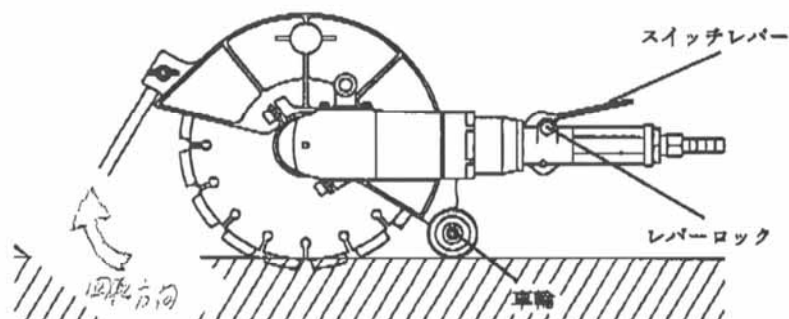
水を使用しなくても切断作業が行
える乾式用ダイヤモンドブレード
です。



金属用・非金属用の 2 種類があ
ります。

7. 使用方法

- 1) 湿式切断の場合は、給水コックを開き給水してください。
- 2) 被削物の上に本体を置き、ダイヤモンドブレードまたはレジノイド砥石をケガキ線に合わせてください。
- 3) ダイヤモンドブレードまたはレジノイド砥石が被削物に触れない状態で、レバーロックを押しながらスイッチレバーを入れてください。
- 4) 切込みは車輪を支点として、前方にたおして行ってください。



警告

1. 切断するときは、必ず保護メガネを使用してください。被削物やレジノイド砥石などが欠けて飛散する場合があるので、大変危険です。
2. ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石を、曲線切り・斜め切りに使用しないでください。ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石の割れなどが発生し大変危険です。

注意

1. 切断を始める前に、ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石の回転が全速回転になるようにしてください。
2. 使用中にダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石がとまったり、異音を発したときなどには、直ちにスイッチレバーを切り、空圧源のバルブを閉じてください。
3. エアーホースを、回転するダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石に接近させないように十分ご注意ください。
4. 作業が終了しましたら、スイッチレバーをロックし、空圧源のバルブを閉じてください。

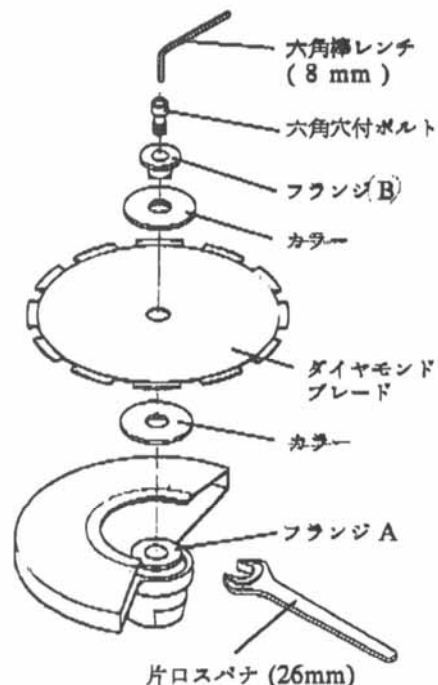
8. ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石の取付け・取りはずし



警告

万一の事故を防止するため、必ずスイッチレバーをロックし空圧源のバルブを閉じてください。

- 1) フランジ A を上に向け、その上にカラーを当てダイヤモンドブレードまたはレジノイド砥石をのせてください。
 - 2) ダイヤモンドブレードまたはレジノイド砥石の上にカラーを当て、フランジ B を穴に入れてください。
 - 3) 片ロスバナ (26mm) をフランジ A の下部に入れ、六角穴付ボルトを六角棒レンチ (8mm) で締付けてください。
- ◎ ダイヤモンドブレードまたはレジノイド砥石を取りはずす場合は、上記取付けと逆手順に行ってください。



9. 保守・点検修理



警告

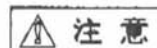
点検・手入れの際は、必ず空圧源と本機の接続をはずしてください。

1. ダイヤモンドブレードの点検

摩耗したダイヤモンドブレードをご使用になっておきますと、切れ味が悪くなりモーターに無理をかけることとなります。また、チップとび・割れ・ひび・欠けているものは、新品と交換してください。

2. レジノイド砥石の点検

割れ・ひび・欠けているものは、新品と交換してください。



注意

ダイヤモンドブレードおよびレジノイド砥石は当社推奨品をご使用ください。

3. 各部取付ネジの点検

各部取付ネジでゆるんでいるところがないかどうか、定期的に点検してください。もし、ゆるんでいるところがありましたら、締め直してください。ゆるんだままお使いになりますと、大変危険です。

4. モーター部の取扱いについて

モーター部は本機の心臓部ともいえます。モーター内部に傷をつけたり、ゴミ・ほこり・水が入らないように十分注意してください。

また、1日3回は給油してください。本体の寿命を長く保つため、エアーホース口よりスピンドル油などを2～3cc程度給油してください。

5. 修理について

- ◎ 本機は厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらないで、

最寄りの

販売店 コンセック各営業所

 にご用命ください。

その他、部品のご入用の場合、あるいは取扱い上でご不明の点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

10. 製品の保管

◎ 製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | |
|--|
| ◇お子様の手がとどいたり、簡単に持ち出せる場所
◇軒先など雨がやかかったり、湿気のある場所
◇温度が急変する場所
◇直射日光の当たる場所
◇引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 |
|--|

このような場所には
保管しないでください。

本取扱説明書に記載されている商品の外観などの一部を 予告なく変更している場合があります。
